

「平成 29 年度経営発達支援計画」第 2 回事業評価検討委員会議事録

広島安芸商工会
府中町商工会
広島東商工会

1. 開催日時 平成 30 年 4 月 11 日（水）13 時 30 分～14 時 50 分
2. 開催場所 サンピア・アキ（安芸郡海田町窪町 8-8）
3. 出席者数 30 名
4. 出席者名

評価委員（外部有識者・行政）

委員長	中小企業診断士	（一社）広島県中小企業診断協会会長	岸本 実
副委員長	中小企業診断士	（有）エーケンテック代表取締役	江川 雅典
委員	府中町	生活環境部町民生活課長	岩崎 雅男
委員	海田町	魅力づくり推進課長	宮垣 将司
委員	坂 町	建設部産業建設課長	竹岡 佳宏

（広島安芸商工会）

会長	吉田 栄二
副会長	倉増 治男
〃	金子 建治
専務理事	三浦 裕豊

（府中町商工会）

会長	竹中 鉦一郎
副会長	臺丸 勝子
〃	曾根崎 英雄

（広島東商工会）

会長	松島 洋一
副会長	大迫 良蔵
〃	金子 和泰

(出席事務局)

広島安芸商工会 事務局長	藤本 憲治
〃 経営支援課長	實谷 英治
〃 経営支援課長補佐	檜山 大輔
府中町商工会 事務局長	實森 直実
〃 経営支援課長	近藤 浩
〃 経営支援課主任	藤浦 大輔
府中町商工会 経営支援課主任主事	西内 敏喬
広島東商工会 事務局長	星野 寛
〃 経営支援課長	大形 光昭
〃 経営支援課長補佐	大元 三幸
〃 〃	三谷 良史
〃 経営支援課主任	岩田 誠
〃 経営支援課主任	池田 武繁

(オブザーバー)

広島県商工会連合会	参与	松岡 博之
〃	指導部長	脇安 秀明

5. 議事進行 岸本委員長

6. 議事の経過と結果

(開会)

定刻13時30分、事務局の藤本局長が開会を宣言し、はじめに幹事商工会である広島安芸商工会の吉田会長が開会の挨拶を行った後、事業評価委員の紹介がなされた。事業評価の前に、評価委員から提出された「ご質問シート」について、セクション担当者から説明がなされた後、岸本委員長の進行で次第に沿い議事に入った。

(審議事項)

「平成29年度「経営発達支援計画」事業の実施状況報告及び事業評価と見直しについて」

最初に岸本委員長より評価委員会の目的の確認がなされた。

(平成29年度に3商工会が行ってきた事業の「評価・検証」を行い、事業の継続や実施方法の見直しなどについて、第三者機関として、意見をまとめ提言を行い、その検討結果を踏まえて残りの4年間の事業計画を継続的に改善し、より大きい事業成果を上げるよう

とするもの)

続いて、本日の評価手順について、資料③（事務局評価と委員から提出のあった評価、委員の評価後のセクションリーダーコメント、C評価の場合の見直し（案）を総合的にまとめた抜粋シート一覧）に従って、3項目ずつに区切って、評価を行う旨の説明があった。

評価が「C」（目標達成率80%未満）以下の場合には、事業の見直し（案）の提示が必要な旨の説明がなされた。

続いて、各セクションリーダーが、事務局の自己評価（見直し案が必要な場合はその説明）を項目順に説明した。（説明内容については資料①セクションリーダー記入欄及び資料③評価一覧表を参照）

事業セクション①1. 地域経済の動向調査に関すること【指針③】 檜山指導員より 評価C 見直し要
事業セクション②2. 経営状況の分析に関すること【指針①】 大形指導員より 評価B
事業セクション③3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】 大元指導員より 評価B

岸本委員長より、上記3項目について出席者へ意見を求めたが、特段の意見もないことから、上記3項目についての本委員会の最終総合評価を実施、事務局自己評価及び各委員の事前評価意見も参考にして項目順に

事業セクション①（C）見直し要

「地域特性の分析・調査・情報収集ならびに、マクロ環境分析については、公的機関データ、および商工会保有（例；金融・確定申告などの）データを最大限活用し、支援先に対して有益な情報を提供すること。職員情報共有化の指標を作成すること。」

事業セクション②（B）

「「B」評価ではあるが、啓発セミナーについては、計画通りの3商工会各3回シリーズ合計9回ではなく、1商工会各1回の合計3回とし、巡回・窓口相談など、個別に啓蒙活動を行っていくこと。数値目標となる「量」だけにとらわれず、啓発セミナー参加者へのアンケート等により、「質」の面も考慮し高い事業成果につなげる。」

事業セクション③（B）

「支援先ニーズの掘り起こし、啓発セミナー実施、計画策定までの一連のデータベース管理（共有化）が重要で、次の計画策定後の支援として、計画の質自体についても実現性・具体性が必要である。」

と 評価した。

続いて、事業セクション④⑤⑥の項目を各セクションリーダーが説明

- 事業セクション④4. 事業計画策定後の実施支援に関する事【指針②】西内指導員より
評価D 見直し要
- 事業セクション⑤5. 需要動向調査に関する事【指針③】大形指導員より
評価D 見直し要
- 事業セクション⑥6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】實谷課長より
評価A

岸本委員長より上記3項目について出席者への意見を求めた。

出席者からの意見は以下の通り。

<発言要旨>

海田町 宮垣課長

新たな需要開拓で県人会やビジネスマッチングに単町(海田町)でPR活動していったが、折角の機会だから、今年は是非他の市・町も一緒にやったらどうでしょうか。

江川副委員長

府中町の事業者の方は難しいが、広島市の事業者なら展示会出店等の助成金の制度があるのでそれらも活用されたら良いのではないかとアドバイス。

その後、最終評価を実施。事務局自己評価及び各委員の事前評価意見も参考にして項目順に事業セクション④4. (D) 見直し要

「伴走型支援の成果が問われる計画策定後の支援セクションであり、「PDCAサイクル」の確立に向けて仕組み作りを行う必要がある。全国連システムの活用により、職員間での情報共有、見える化を実施する。計画達成事業者の指標についても、統一基準を設ける。支援資源の確保が重要である。」

事業セクション⑤5. (D) 見直し要

「解決策として、支援対象別に業種ごとに期待できる計画記載中の活用データソースの率的な利用・徹底を図る。活用データソースは「市場情報評価ナビ (MieNa)」

「地域経済分析システム (RESAS)」 「日経POS情報」 「消費者モニタリング調査」

事業セクション⑥6. (A)

「PR活動の戦略イベント事業として、中国ビジネスフェア、東京広島県人会等へ3商工会が協力して参加をする。」

と 評価した。

続いて事業セクション⑦⑧⑨⑩の項目を各セクションリーダーが説明

事業セクション⑦II 地域経済の活性化に資する取組 (1. 地域活性化事業)

近藤指導員より評価C 見直し要

事業セクション⑧Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

池田指導員より評価B

事業セクション⑨Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

2. 経営指導員等の資質向上に関すること 藤浦指導員より評価C 見直し要

事業セクション⑩Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

大元指導員より評価C 見直し要

岸本委員長が上記4項目について出席者へ意見を求めた。

出席者からの意見は以下のとおり。

<発言要旨>

江川副委員長

事業セクション⑨経営指導員の資質向上の項目について「改善手法モデル」が実施できなかったとの報告があったが、「改善手法モデル」の構築には今から件数を積上げていって、こうしてやっていけば良いというものを徐々に作り上げていくものだと思います。したがってスタートからすぐ出来ると言うのはなかなか難しいと思います。今年度やった案件に加え年度毎の案件が蓄積され、それを分析することによってモデルが作られてくるのでは。

藤浦指導員

ご指摘の通り初年度の支援事例が少なく、そこから共通性を見出すには至らなかった。初年度の実例に加え今年度の事例を加味したものでデータベース化を行い、モデルの作成に取り組んでいきたいと思う。

大形指導員

毎月1回開催の経営発達支援会議のなかで支援事例の情報交換・相談の場も持ちたいと考えていたが、初年度であり、各種事業の進め方や確認に会議の時間を取られてできなかった。今年度以降支援事例を積み上げ、会議での支援事例の情報交換の場を確保し、各指導員の資質向上につなげていきたい。

岸本委員長

事業セクション⑨経営指導員の資質向上の項目で、研修参加・マーケティングツールの活用などのスキルマップを作り、各自の現状と目標を「見える化」できるようにされてはかがの提案。

藤浦指導員

各指導員のスキルマップをつくって、それを「見える化」することは、経営指導員の資質向上にとって大切だと思いますので、今後内容を検討しながら、取り組んでいきたいと思ひます。

その後、最終評価を実施。事務局自己評価及び各委員の事前評価意見も参考にして項目順に事業セクション⑦(C)見直し要

「支援制度のPRや関係団体と連携体構築のための情報共有を行う。」

事業セクション⑧ (B)

「専門性の高い方々が出席されるので、活発な意見交換できることを望む。」

事業セクション⑨ (C) 見直し要

「支援事例のデータベース化や支援実績の見える化を行う。具体的には、マーケティングツールの活用などのスキルマップを作成し見える化を行うこと。改善手法モデルの所定フォームを作成する。職員の研修参加・情報交換等による資質向上を期待している。」

事業セクション⑩ (C) 見直し要

「1. 地域経済動向調査に関すること【指針③】」と、「5. 需要動向調査に関すること【指針③】」は、当該事業計画上では統合は出来ないが、関連する場合には、公的データや商工会内部（独自）データ等を有効に取り扱う。

実施方法等を見直すべき事業

事業セクション① 1. 地域経済の動向調査に関すること【指針③】

事業セクション④ 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

事業セクション⑤ 5. 需要動向調査に関すること【指針③】

事業セクション⑦ II. 地域経済の活性化に資する取組 1. 地域活性化事業

事業セクション⑨ III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組 2. 経営指導員等の資質向上に関すること

と 評価された。

岸本委員長

本日の会議内容について事務局がまとめたものを私（岸本）と江川副委員長とが確認をしたのち、2週間以内を目途に、評価委員の皆様へ最終ご報告するので、報告書の最終版については、委員長に一任してもらうことの確認

（出席評価委員から賛同の拍手）

その後、本日出席の委員から、今後に向けた意見等を一言ずつ頂き事業評価は終了。

（報告事項）

平成 29 年度経営発達支援事業特別会計収支決算の説明（資料②により 實谷指導員実施）

（閉会）

すべての議事が終了し、広島東商工会 松島会長が閉会挨拶を行い 14時50分閉会。

以上のとおり、議事録を確認しました。

平成30年4月16日

広島県中小企業診断協会長 中小企業診断士 岸本 実 印